



2012年 9月 9日

みなさん、こんにちは。朝晩だいぶ涼しくなって、すごしやすくなってきましたね(^-^)

●郷土作家シリーズ

生誕120年記念企画展「寺島紫明の素描～画家のまなざし～」9月30日(日)まで開催!

寺島紫明^{しめい}は、明治25年(1892)明石市樽屋町の木綿問屋に生まれました。画家を志して上京し、21才で鏗木清方^{かぶらききよかた}に師事しました。師の情緒的な画風を受け継ぎながら、情感豊かな存在感のある美人画を手がけています。

35才の時に帝展で初入選を果たした後は、帝展や新文展、日展を中心に活躍しました。

本展では、館蔵品の中から、日展出品作の下絵をはじめとする素描を中心に展示し、美人画制作に情熱を注いだ画家のまなざしとその画業を紹介します。大関株式会社の協力により、下絵の本画もあわせて展示します。

また、生誕120年を記念し、近年収集した紫明の本画も初公開します。

会期:2012年9月1日(土)～9月30日(日)

場所:1階特別展示室、1階小展示室

休館日:月曜日 但し9月17日(月・祝)は開館

開館時間:9:30～18:30(入館は18時まで)

《関連イベント》 申込不要。要観覧料

■当館学芸員による作品解説

日時/9月15日(土)、22日(土)

①11:00②14:00(各回30分程度)

■ロビーコンサート

日時/9月23日(日)14:00～(30分程度)

出演/小野村友恵(ヴァイオリン)、

秋田紗奈江(ヴィオラ・ヴァイオリン)、山内瑤子(チェロ)



左:「舞妓」素描 昭和39年(1964)/当館蔵

右:「芸人」素描 昭和23年(1948)/当館蔵

●松平家・黒田家旧蔵資料受贈記念速報展「明石藩の世界」

併設展:江戸時代のやきもの

9月8日(土)より開幕致しました!!!

このたび明石市に、明石藩主松平家と明石藩家老黒田家に伝わる資料一式(1600点余)が寄贈されました。資料は現在調査中ですが、比較的保存状態のよいものを中心に、鎧・兜・火事羽織・日記類等約100点を、速報展として展示致します。また併設展として、日本陶磁協会明石後援会の協力により、江戸時代に明石とその周辺で作られた陶磁器類の展示を開催致します。

会期:2012年9月8日(土)～9月23日(日)

休館日:月曜日 但し9月17日(月・祝)は開館 場所:2階ギャラリー

観覧料は両展示共通券

大人200円 大高生150円 中小生100円

※20名以上の団体は2割引、高年手帳(65歳以上)・障害者手帳提示にて半額



画像 右:火事頭巾(黒田家旧蔵資料・左:「赤石」印付明石焼片口碗(黒田家旧蔵資料)